

■ コミュニティバスのルート・ダイヤ改正の方向性

1 概要

- あしがるバスのルート・ダイヤについては、地域公共交通網形成計画において、「公共交通に関する意識調査」の結果を踏まえて、必要に応じて大規模な見直し・改善を検討することとしている。
- 運行事業者の切り替え（平成29年10月）の時期に合わせたルート・ダイヤ改正に向けて、意識調査結果や現状の利用実態等を踏まえて、ルート・ダイヤ改正の方向性を整理する。

【地域公共交通網形成計画（平成27年3月策定）抜粋】

- ② あしがるバスのルート・ダイヤの最適化
  - ◆ あしがるバスについて、現在の3路線を基本としつつ、更なる利便性の向上に向けてルート・ダイヤの最適化を図ります。
  - ◆ 平成28年度には、「清須市公共交通に関する意識調査（仮称）」の中で、あしがるバスのルート・ダイヤに関する市民ニーズの詳細を把握し、必要に応じて大規模な見直し・改善を検討します。

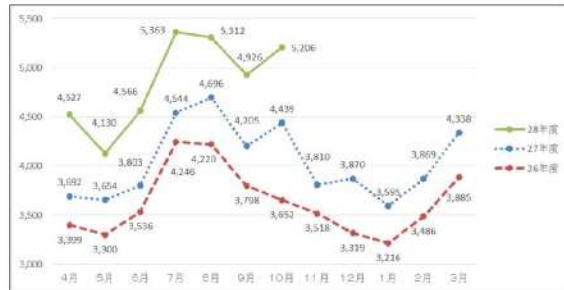
2 ルート・ダイヤ改正の経緯（直近3回）

- 地域公共交通会議での協議を経て、次のとおり改正している。

改正日	主な改正理由
平成24年7月7日	市立図書館開館に伴う利便性向上及びサクラルートに中型バス（ボンチョ）導入
平成26年3月29日	要望が多かったバス停の新設及び都市計画道路枇杷島小田井線JRアンダーパス開通
平成28年5月1日	診療所開院に伴うバス停の新設及び適正なダイヤに是正

3 あしがるバスの利用実態 【詳細は資料7】

(1) 総利用者数



- 3ルートの総利用者数は、平成24年7月の大規模なルート・ダイヤ改正以降、毎年度順調に増加した状態を維持している。
- 月別の利用状況については年度間でほぼ同様の推移となっており、利用者数全体の底上げが図られている。
- 特に、平成28年度は、前年度と比較して約20%の増加となっている。

(2) 月別利用者数の増加率（対前年度）比較

（単位：％）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H26	108	105	101	114	99	112	111	107	110	111	112	108	108
H27	109	111	108	107	111	111	122	108	117	112	111	112	111
H28	123	113	120	118	113	117	117	-	-	-	-	-	117

(3) 1便当たり利用者数の比較

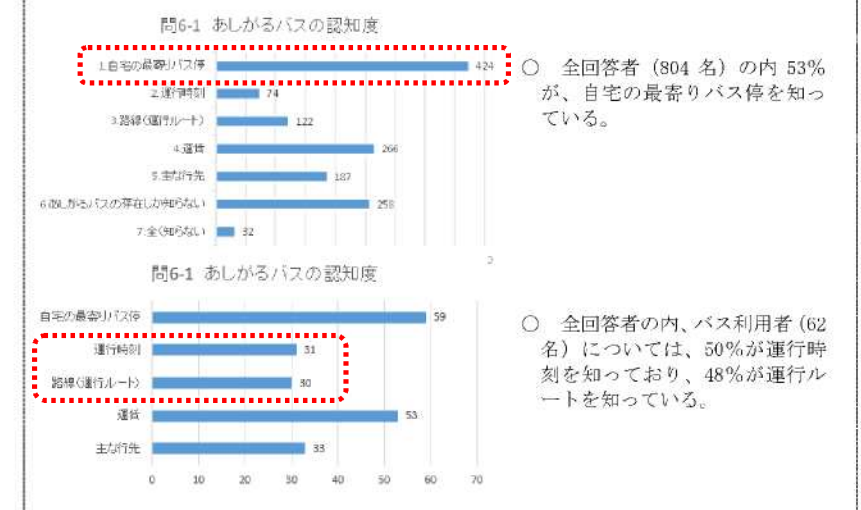
（単位：人）

ルート	28年度目標値	平成26年度	平成27年度	平成27年10月～平成28年9月	H27.10～H28.9と目標値との比較
オレンジ	5.0	4.6	5.2	5.6	+0.6
グリーン	5.1	4.4	4.9	5.2	+0.1
サクラ	5.6	5.0	5.5	6.1	+0.5
全体	5.2	4.7	5.2	5.6	+0.4

4 利用者数増加の要因

- 平成24年7月の大規模改正以降、大規模な改正はないものの、必要に応じてルート・ダイヤ改正を実施していること、また、大規模改正から4年以上が経過し、市民にルート・ダイヤ等がある程度浸透してきたことなどが、全体的な利用者数の底上げにつながっていると考えられる。

【あしがるバスの認知度（意識調査結果より）】



- 全回答者（804名）の内53%が、自宅の最寄りバス停を知っている。
- 全回答者の内、バス利用者（62名）については、50%が運行時刻を知っており、48%が運行ルートを知っている。
- また、ルート・ダイヤ改正の際に、要望等に応じて新設したバス停の乗降者数が順調に増加していることも一因である。

【主な新設バス停とその乗降者数】

バス停（新設日）	便名	乗車		降車	
		数(人)	シェア(%)	数(人)	シェア(%)
東町公民館 (H26. 3. 29)	西行き	198	5.7	5	0.1
	東行き	9	0.3	177	5.1
芳野公園北 (H26. 3. 29)	西行き	547	11.8	160	3.4
	東行き	283	6.2	482	10.6
はるひ呼吸器病院 (H28. 5. 1)	西行き	9	0.2	359	7.7
	東行き	366	8.1	16	0.4

- さらに、地域公共交通網形成計画に掲げた利用促進策（一日乗車券、高齢者運転免許証自主返納推進事業、一日無料デー等）の実施による効果が表れている。

【一日乗車券】（平成28年度実績）							
利用促進策	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
一日乗車券利用者数（人）	324	462	596	739	567	536	585
利用全体に占める割合（%）	7.2	11.2	13.1	13.8	10.7	10.9	11.2

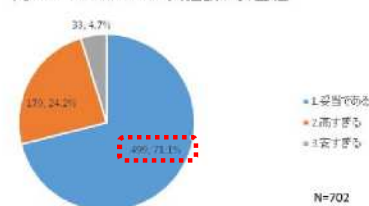
【高齢者運転免許証自主返納推進事業】（平成28年度実績）							
利用促進策	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
無料券交付者数（人）	8	2	1	0	1	0	0
無料券による利用者数（人）	15	19	30	44	39	13	5

### 5 ルート・ダイヤ改正の方向性

- 意識調査結果からは、「あしがるバス」を含めた公共交通の充実においては、**現状程度の市費の投入が妥当であるとの声が多数**であった。
- さらに、現行ルート・ダイヤにおいて、**利用者数が、毎年度増加基調で推移している。**

【あしがるバスの負担額の妥当性（意識調査結果より）】

問14-1 あしがるバス負担額の妥当性



- 全回答者（702名）の内71%が、バス運行に係る市民一人当たりの年間負担額（約540円）が妥当であると回答している。

問16 あしがるバスへの市費の投入について



- 全回答者（746名）の内37%が、バスへの市費への投入については現状を維持すべきであると回答している。

以上を踏まえて、次回のルート・ダイヤ改正の方向性については、**現行のルート・ダイヤを基本としつつ、意識調査結果や現状の利用実態等を踏まえて、更なる利便性の向上を図る。**

### 6 「更なる利便性の向上」に向けたルート・ダイヤ改正の方向性（案）

1 本庁方式移行・市民サービスセンター移転に伴う改正 （あしがるバス利用目的の強化）	
① オレンジルート「さわやかプラザ」バス停の設置	資料6-1
② サクラルート「清洲庁舎」バス停の廃止	資料6-3
2 運行時間の短縮・運行経費抑制に向けた改正 （あしがるバス利用目的地へのアクセス向上、利用実績が少ない運行便の改善）	
① オレンジルート「城跡公園」、「城並二丁目」バス停の廃止	資料6-1
② グリーンルート7便～10便、サクラルート7便～10便の折り返し運行	資料6-2
③ サクラルート「清洲総合福祉センター」、「清洲庁舎」バス停の廃止	資料6-3

### 7 今後のスケジュール（想定）

時期	内容
平成28年12月15日	平成28年度第2回地域公共交通会議 （意識調査結果（中間まとめ）、ルート・ダイヤ改正の方向性等）
平成29年3月下旬	平成28年度第3回地域公共交通会議 （意識調査結果（最終報告）、ルート・ダイヤ改正案協議等）
6月上旬	平成29年度第1回地域公共交通会議 （ルート・ダイヤ改正案協議等）
6月中旬	運行事業者特定プロポーザル
6月下旬	生活交通確保維持改善計画提出
10月1日	ルート・ダイヤ改正、運行事業者切り替え